

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 第7回総会 議事録

- 日時：平成26年7月6日（日）13:30～15:00
- 場所：沖縄大学2号館2-406教室
- 出席：15名、委任状・議決行使権：31名
- 議長団：会長（中野義勝）、議長団（WWF ジャパン 権田雅之、木村匡）、事務局（沖縄県自然保護・緑化推進課 神谷大二郎）、運営委員（沖縄県環境科学センター 山川英治）、司会（沖縄県自然保護・緑化推進課 多良間一弘）
- 議事録署名人：藤田喜久、エコガイドカフェ（猪澤也寸志）

有効会員数（規約第7条の規定による議決権を有する会員）70名中、15名の出席者及び委任状または議決行使権送付者31名、合計46名により、成立要件である会員の過半数35名を満たしたので総会が成立し、事務局より提出された議案を協議した。

1. 第1号議案：平成25年度活動報告

平成25年度に行った以下の事業について事務局から説明があり、内容について会員の承認を受けた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第5回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業報告シンポジウムの実施
- (5) おきなわサンゴ礁ウィーク2014の実施
- (6) 後援、共催、協賛
- (7) ホームページの維持管理
- (8) その他

サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業平成25年度採択団体伝達式

2. 第2号議案 平成25年度収支決算報告

平成25年度収支決算報告について、事務局から以下のように説明があり、会員からの承認が得られた。また、監査役の上里幸秀より、規約14条第3項に基づき平成25年度の会計監査を実施し、関係帳簿及び預金通帳等を元に、適正に管理運営されていることを確認したことが報告された。

	平成25年度 収支予算	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
前年度繰越金	9,023,197	1,467,794	7,522,403	8,990,197
収入	200,000	130,770	1,129	131,899
			150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)
支出	5,730,000	850,771	1,762,961	2,613,732
未払金(助成)	-	-	1,520,000	1,520,000
口座の移動	1,000,000	1,000,000	-1,000,000	-
次年度繰越金	3,489,197	1,747,793	3,240,571	4,988,364
			150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)

● 収入	平成25年度 収支予算	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
1) 寄付	100,000	130,574		130,574
			150,000(ドル)	150,000(ドル)
2) 助成金	100,000	-	-	-
3) その他	-	-	-	-
4) 預金利息	-	196	1,129	1,325
			6.15(ドル)	6.15(ドル)
5) 口座の移動	1,000,000	1,000,000	-	1,000,000
6) 前年度繰越金	8,990,197	1,467,794	7,522,403	8,990,197
				10,122,096
				150,006.15(ドル)
収入合計				

● 支出	平成24年度 収支予算	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
1) 活動費	260,000	106,351	5,040	111,391
2) 会議費	50,000	3,000	-	3,000
3) 消耗品、備品		-		
4) 旅費	500,000	326,220	-	326,220
5) 謝金		12,000		
6) 通信費	10,000	-	-	-
7) 雑費	10,000	-	-	-
8) 委託費	500,000	403,200	-	403,200
9) 協賛金	-	-	-	-
10) 助成金	4,400,000	-	1,757,921	1,757,921
11) 口座の移動	1,000,000	-	1,000,000	1,000,000
12) 未払金(助成)	-	-	1,520,000	1,520,000
13) 次年度繰越金	3,489,197	1,747,793	3,240,571	4,988,364
				10,110,096
支出合計				

・収入詳細

- 1) 寄付：サウジアラムコ、ルミネ、日本ハム、カーボンオフセット（沖環科）

・支出詳細

- 1) 活動費：おきなわサンゴ礁ウィーク実施費用、アジェンダ負担金、振込手数料など
- 2) 会議費：総会会場費
- 3) 消耗品、備品：なし
- 4) 旅費：理事会、審査会旅費
- 5) 謝金：シンポジウム講演者謝金
- 6) 通信費：なし
- 7) 雑費：なし
- 8) 委託費：沖縄県環境科学センターへの事務委託費
- 10) 助成金：
 - 助成金内訳

平成23年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
NPO法人読山原	400,000	200,000	2012/2/6	158,063	2013/4/25	358,063
NPO法人海洋情報技術センター	400,000	-	-	400,000	2013/2/5	400,000
ニライ地区のサンゴを見守る会	600,000	300,000	2012/2/20	57,921	2013/10/11	357,921
牧野梓氏	500,000	250,000	2012/5/31	-55,870	2012/12/13	194,130
合計	1,900,000	750,000	-	560,114	-	1,310,114

「NPO法人読山原」、「ニライ地区のサンゴを見守る会」の概算払は平成23年度に支払い。

平成24年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
NPO法人 マングローブEEクラブ	700,000	350,000	2013/6/17	350,000	2014/1/9	700,000
NPO法人 海の自然史研究所	800,000	400,000	2012/10/9	400,000	2013/12/10	800,000
NPO法人INO	800,000	470,000	2012/10/23	330,000	2013/1/23	800,000
谷口洋基	700,000	-	-	-	-	-
合計	3,000,000	1,220,000	-	1,080,000	-	2,300,000

谷口洋基氏は辞退したため、支払いはなかった。

平成25年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
宮古島マリンリゾート協同組合	320,000	160,000		160,000		320,000
ナンハナリサンゴ調査会	600,000	300,000		300,000		600,000
海の自然史研究所	600,000	300,000	2013/12/10	300,000		600,000
グローイングコーラル	600,000	300,000	2014/3/27	300,000		600,000
合計	2,120,000	1,060,000	-	1,060,000	-	2,120,000

平成25年度会計報告には、平成25年度助成事業の2,140,000円のうち、1,540,000円は未払金として計上している。

3. 第3号議案 平成26年度事業計画(案)

平成25年度事業計画について、事務局から以下の活動計画が説明があり、会員の承認が得られた。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第6回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) おきなわサンゴ礁ウィーク 2015 の実施
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (5) ホームページの維持管理
- (6) 後援、共催、協賛
- (7) その他活動に必要な事項
 - ・ 広報資料等の作成

4. 第4号議案 平成26年度収支予算(案)

事前配布された議案書に訂正があったため、修正された平成26年度収支予算(案)が当日配布された。平成26年4月1日～平成27年3月31日までの予算(案)について事務局から説明があり、会員の承認が得られた。

	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
前年度繰越金	1,747,793	3,220,571	4,968,364
		150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)
収入	200,000	-	200,000
支出	1,928,000	3,005,000	4,933,000
口座の移動	1,000,000	-1,000,000	-
次年度繰越金	1,019,793	-784,429	235,364
		150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)

● 収入	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
1) 寄付	100,000	-	100,000
2) その他助成金等	100,000	-	100,000
3) 口座の移動	1,000,000	-	-
4) 前年度繰越金	1,747,793	3,220,571	4,968,364
		150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)
	収入合計		5,168,364
			150,006.15(ドル)

● 支出	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
1) 活動費	460,000	5,000	465,000
サンゴ礁コンテスト	(50,000)		
アジェンダ21会費	(5,000)		
環境フェア出展費用等	(5,000)		
広報資料作成(リーフレット増刷等)	(200,000)		
サンゴ礁ウィーク開催費用	(200,000)		
2) 会議費	50,000		50,000
3) 消耗品、備品	-		-
4) 旅費	898,000		898,000
理事会等旅費	(748,000)		
審査会旅費	(50,000)		
シンポジウム等旅費	(100,000)		
5) 謝金	-		-
6) 通信費	10,000		10,000
7) 雑費	10,000		10,000
8) 委託費	500,000		500,000
事務委託費	(500,000)		
9) 協賛金	-		-
10) 助成金		3,000,000	3,000,000
平成26年度助成事業		(3,000,000)	
11) 口座の移動		1,000,000	
12) 次年度繰越金	1,019,793	-784,429	235,364
		150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)
	支出合計		5,168,364
			150,006.15(ドル)

5. 第5号議案 役員選挙結果

平成26年6月10日に選挙の開票を行い、次期、会長、副会長、理事、監査役候補を報告し、会員の承認を受けた。

- ・規約第13条により、現役員の任期が平成26年12月12日までとなっており、時期役員を選出するため、平成26年5月16日（金）～6月1日（日）の期間に、役員選挙を実施した。
- ・規約により、役員選挙では、会長1名、理事18名を互選により選出された。
- ・規約により、副会長1名、監査役2名、理事2名を指名。
- ・得票数の多かった被選挙人から順に選出されるが、1名が副会長へ指名され、4名が辞退したため、繰り上がりにより以下の18名が選出された。

【会長】規約第12条により、互選による選出

- ・中野義勝

【副会長】規約第12条により会長が指名

- ・八重山サンゴ礁保全協議会

【理事】規約第12条により、互選による選出

- ・沖縄県自然保護・緑化推進課
- ・一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会
- ・エコガイドカフェ
- ・WWF ジャパン
- ・西平守孝
- ・沖縄リーフチェック研究会
- ・NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会
- ・木村匡
- ・コーラルクエスト
- ・宮古島マリリゾート協同組合
- ・NPO法人グローイングコーラル
- ・沖縄県宮古事務所
- ・藤田喜久
- ・環境省那覇自然環境事務所
- ・泡瀬干潟を守る連絡会
- ・梶原健次
- ・NPO法人沖縄県ダイビング安全対策協議会
- ・後藤亜樹

【理事】規約第12条により会長が指名

- ・特定非営利活動法人マングローブEEクラブ
- ・佐藤崇範

【監査役】規約第12条により会長が指名

- ・沖縄県衛生環境研究所
- ・沖縄県立博物館・美術館

【事務局長】規約第24条により、会長により事務局長を任命。

- ・沖縄県自然保護・緑化推進課

6. 第6号議案 規約の改正

第6-1号議案 規約の改正（第13条）

規約第13条では「役員の任期は2年を基本とする」とされており、現在、役員の交代時期が12月13日となっている。2年に一度役員選挙が実施されるが、役員の決定は選挙で選出された会員が総会の承認を経る必要があるため、6月の総会で役員を選出後、新役員の就任に遅延が生じることから、次期役員の任期を短縮するなど役員の交代時期について規約の改正が提案され、以下のとおり承認された。

改正前	改正後
<p>(役員の任期)</p> <p>第13条 役員の任期は<u>2年を基本とする。但し、平成20年6月28日に選出される役員の任期については、次回の総会までとする。また、再任を妨げない。</u></p> <p>2. 補欠又は増員により就任した役員の任期は、他の役員の残存期間とする。</p> <p>3. 役員は、辞任又は任期満了後であっても、後任者が就任するまでは職務を遂行する。</p>	<p>(役員の任期)</p> <p>第13条 役員の任期は<u>選出から2年後の総会までとする。但し、平成26年12月13日に就任する役員の任期については、平成28年度に開催される総会までとする。また、再任を妨げない。</u></p> <p>2. 補欠又は増員により就任した役員の任期は、他の役員の残存期間とする。</p> <p>3. 役員は、辞任又は任期満了後であっても、後任者が就任するまでは職務を遂行する。</p>

第6-2号議案 規約の改正（第24条）

沖縄県環境生活部自然保護課の名称変更による規約の改正が承認された。

改正前	改正後
<p>(運営事務局)</p> <p>第24条 協議会の活動を円滑に進めるための事務作業を行う運営事務局を<u>沖縄県環境生活部自然保護課</u>に設置する。</p>	<p>(運営事務局)</p> <p>第24条 協議会の活動を円滑に進めるための事務作業を行う運営事務局を<u>沖縄県環境部自然保護・緑化推進課</u>に設置する。</p>

第7号議案 将来委員会の設置について

2008年に沖縄県サンゴ礁保全推進協議会が設立され、これまでにサウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業などにより会員のサンゴ礁保全への支援を実施してきたところだが、基本理念に基づく協議会の取り組みをさらに前進させるため、将来委員会の設置が提案され、将来委員会の設置について承認が得られた。

将来委員会は協議会の最大の目的は会員の相互の情報交換、それぞれの保全活動の活性化、この部分がなかなか動いていないため、将来を見据えた形で議論する場をもつことが目的。

なお、将来委員会の設置に関して以下の意見があった。

- ・開催時期やどういう人が参加するかなどは決まっているのか。
→組織ができた段階で参加者のスケジュールを考慮して開催時期などを決める。運営委員会と重複するところもあるが、現在の各委員会の委員長には委員会に入ってほしい。また、外部の意見も取り込む必要があれば会員以外の方からのヒアリングなども検討する。具体的な運営に関しては事務局からアナウンスする。
- ・委員会のメンバーは理事である必要があるのか？
→理事である必要はない。委員長は理事が務める。
- ・なぜ、こういう委員会が必要なのか理由や必要となった事例を聞かせてほしい。
→この協議会は意見交換、情報交換の場を提供することで設立されている。ただ、協議会に参加していない会員が多い状況であり、情報交換の場として機能していない。恒常的に協議会を運営していくには、会員を増やしていく必要がある。そのため、会員サービスの向上などの戦略をどう取り得るのか考え、長期的な視点で協議会のあり方を検討していきたい。
例えば、寄付する側のメリットも考えて法人化も視野に入れて具体的なアクションについて検討したい。

8. 第8号議案 その他

協議会の今後のあり方について総会参加者と意見交換を実施したので、その内容等を以下にまとめる。

- ・協議会の設立趣意書によると、情報交換の場の提供など、協議会が何をすべきかというアクションプランが立てにくいと思う。また、会員のメリットがわかりにくい。アラムコ助成は一定のインパクトがあるが、会員のメリットを示す必要があるのではないか。そのためには、サンゴ礁保全の現状がどのような立ち位置にきており何が必要なのか整理する必要がある。寄付行為を受けやすくするために法人化を検討することも会員のメリットにつながる。
- ・現在の協議会の活動が助成事業やサンゴ礁ウィークなどであるが、総会などを開いた際にはあまり人が集まらない。今回の総会に参加した会員が感じているメリットを会場から聞いてみたい。
→学生の立場では、学生が応募しやすい研究助成金（30万円程度）をつくり、成果を発表する場があれば、会員が情報を得ることができ、頑張っている若い人たちが興味をもってもら

えると思う。→アラムコ助成で実現可能なので、ぜひやっていただきたい。

→宮古での活動が活発な部分とそうでない部分がある。沖縄本島の活動を参考にして、宮古の活動を活性化させたいと考えている。情報交換の場を必要としている。

→八重山ではサンゴ礁の講習会をやっている。1 つテーマを決めて議論してグループごとに発表する方法。サンゴ礁ウィークに参加した団体の交流集会をしてみてもどうか。そうすることで情報があつまり良くなると思う。もっと遊びを入れてほしい。

→サンゴ礁ウィークの取組みの合間に総会を入れてはどうか。そうすることで会員の参加も多くなると思う。

→夏場にサンゴ礁ウィークをやってもいいと思う。3 月は寒いし、海が荒れるので活動しにくい。サンゴ礁ウィークで1日に複数の活動が重なると1つしか参加できない。サンゴ礁ウィークがどのような成果があって、地域からどんな意見があったか興味がある。

- 将来委員会では、会員が何をしたいかということ意見を集約してほしい。
- 将来、協議会がどう動いていくかということを考える将来委員会は、人とお金をどうするかという非常に重要な委員会になると思う。
- 協議会に期待することではなく、協議会でやりたいことがあってもよいのではないか。後援は多くなっているが、共催や協賛が増えてくればよいと思う。